



奥深い、将棋の世界を体験！

8月

将棋教室

東部台文化会館や市内の学童クラブにて、日本将棋連盟茂原支部主催の「将棋教室」が開催されました。これは、将棋を通じて、集中力や思考力を養うとともに、友達との交流や礼儀を学ぶために開催されたもの。

子どもたちは、先生から将棋の基本や戦い方を学び、対局に挑戦。初めて将棋に触れる子から将棋をやったことがある子まで、真剣に盤面に向き合いました。



▲次は何を指そうかな？



▲TEC-FORCEと市原 淳市長

TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)が 被災状況を報告

8/28

令和8年8月千葉豪雨に関する被災状況調査 手交式

令和8年8月千葉豪雨に伴い、国土交通省関東地方整備局からTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)が本市に派遣され、道路被害についての調査が行われました。

TEC-FORCEの鉢嶺班長から市長へ被害状況の報告と対応すべき点の説明が行われ、調査結果を取りまとめた報告書が直接手渡されました。

茂原の伝統に触れる

9/15

萩原小学校 茂原音頭の伝承・体験

萩原小学校の3年生が茂原舞踏協会の方々の指導の下、「茂原音頭の伝承・体験」を行いました。これは、市の伝統的な踊りである「茂原音頭」について学び、実際に踊る体験を通じて地域の文化に関心を持ち、郷土を大切に思う心を育てることを目的に行われたもの。

当日は、冒頭に「茂原音頭」についての説明と実技指導が行われ、その後、クラスごとに円になり、踊りを体験しました。今後、練習を重ね、秋の運動会の表現運動の種目で成果を披露する予定です。



▲教わった振り付けを早速実践！



▲実物を見ながら説明を聞く生徒たち

あの日の暮らしから、平和を考える

9/16

本納中学校 平和教育出前授業

ピーススタッフ長生の講師の方々、本納中学校の3年生を対象に、平和教育出前授業を行いました。この授業は、実際に戦争を経験した方やそのご家族が、戦争の悲惨さや平和の尊さについて後世に語り継いでいくものです。

生徒たちは、戦時中の人々の生活の様子や、戦地へ赴く際に身に付けていたお守りや、掩体壕の役割などの説明を受けました。また、「戦争が始まるときや戦後はどのような思いを抱えていたのか」など疑問に思ったことを自由に質問し、改めて戦争について学ぶ貴重な機会となりました。